日興ＦＷＳ・新興国株アクティブ（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式

作成基準日：2026年08月31日

日興ファンドラップ

Nikko Fund Wrap

セレクト アクティブ・シリーズ

当マンスリーレポートは、「日興ファンドラップ セレクト アクティブ・シリーズ」のうち、以下のファンドに関するものです。【】内はファンドの投資対象資産を示しています。

- 日興FWS・日本株クオリティ
- 日興FWS・日本株市場型アクティブ
- 日興FWS・先進国株クオリティ（為替ヘッジあり）
- 日興FWS・先進国株クオリティ（為替ヘッジなし）
- 日興FWS・先進国株市場型アクティブ（為替ヘッジあり）
- 日興FWS・先進国株市場型アクティブ（為替ヘッジなし）
- **日興FWS・新興国株アクティブ（為替ヘッジあり）**
- **日興FWS・新興国株アクティブ（為替ヘッジなし）**

【新興国の株式等】

- 日興FWS・日本債アクティブ
- 日興FWS・先進国債アクティブ（為替ヘッジあり）
- 日興FWS・先進国債アクティブ（為替ヘッジなし）
- 日興FWS・新興国債アクティブ（為替ヘッジあり）
- 日興FWS・新興国債アクティブ（為替ヘッジなし）
- 日興FWS・Ｊリートアクティブ
- 日興FWS・Gリートアクティブ（為替ヘッジあり）
- 日興FWS・Gリートアクティブ（為替ヘッジなし）
- 日興FWS・ヘッジファンドマルチ戦略
- 日興FWS・ヘッジファンドアクティブ戦略

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

日興ＦＷＳ・新興国株アクティブ（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年08月31日

＜日興ファンドラップ セレクト アクティブ・シリーズ＞

ファンドの目的

各ファンドは投資対象とする各投資信託証券への投資を通じて、実質的に投資対象とする資産へ投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。

ファンドの特色

1 「日興ファンドラップ セレクト アクティブ・シリーズ」は、投資者と販売会社が締結する投資一任契約に基づいて、資産管理を行う口座の資金を運用するための専用ファンドです。

※「日興ファンドラップ セレクト アクティブ・シリーズ」のご購入のお申込みには、販売会社のラップ口座の開設が必要です。

2 「日興ファンドラップ セレクト アクティブ・シリーズ」は、複数ファンドで構成されており、各ファンドは投資対象とする各投資信託証券（以下「指定投資信託証券」ということがあります。）への投資を通じて、実質的に投資対象とする資産に投資します。

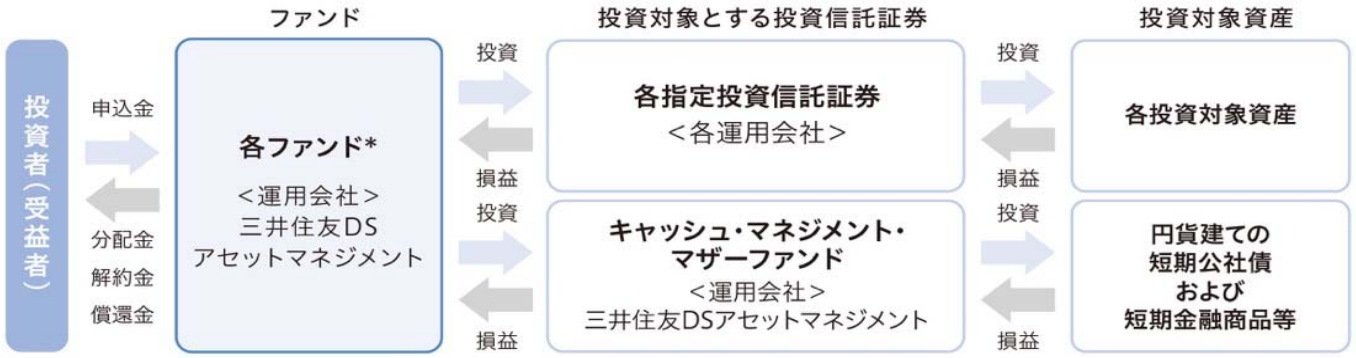
■指定投資信託証券の選定については、ＳＭＢＣグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社からの助言を受けます。なお、指定投資信託証券は継続的にモニタリングを行い必要な場合は入替えも行います。

※指定投資信託証券および投資対象とする資産については後掲の「ファンドのしくみ」をご参照ください。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドのしくみ

■ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。



＊指定投資信託証券の選定について助言を行うSMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティングは、委託会社の親会社である三井住友フィナンシャルグループの子会社（100%出資）であり、委託会社の信託報酬の中から、投資助言にかかる報酬を受領します。

※各指定投資信託証券の組入比率を原則として高位に保ちます。

※上記における各ファンド、各指定投資信託証券、各運用会社等は次ページのとおりになります。

詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

日興ＦＷＳ・新興国株アクティブ（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年08月31日

参考資料

下記は「日興FWS・新興国株アクティブ（為替ヘッジあり）（為替ヘッジなし）」が投資対象とする投資信託証券（指定投資信託証券）の運用戦略（以下、当戦略）の概要であり、当戦略の運用会社であるアセットマネジメントOneおよび実質的な運用会社であるオールスプリング・グローバル・インベストメンツ・エルエルシーから提供された情報をもとに記載しています。実際の当戦略の運用は「エマージング・ハイクオリティ株式マザーファンド」（以下、「マザーファンド」）を通じて行います。詳細は「日興ファンドラップ　セレクトアクティブ・シリーズ」の投資信託説明書（交付目論見書）および販売用資料をご覧ください。

指定投資信託証券

Ｏｎｅエマージング・ハイクオリティ株式ファンド（限定為替ヘッジ）（FOFs用）（適格機関投資家限定）
Ｏｎｅエマージング・ハイクオリティ株式ファンド（為替ヘッジなし）（FOFs用）（適格機関投資家限定）

このファンドを一言でいうと

“クオリティ”の高い企業に割安なタイミングで投資することで、リスクを軽減し、安定した収益の獲得を目指す新興国株*ファンド

ここが、ポイント

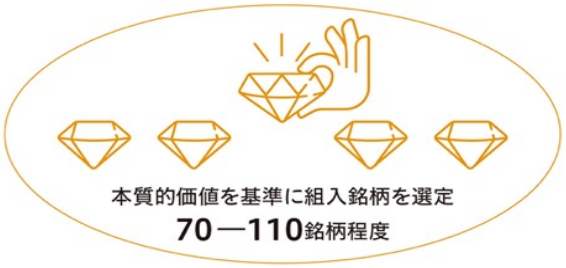
1. 新興国株式は政治や為替などの不安定要因が多いことなどから、価格変動が大きくなる傾向があるため、“クオリティ”に着目した銘柄選択で、リスク軽減を図る。
2. 一定のクオリティ基準を満たす銘柄群（クオリティ・プール）を構築し、長期目線で企業を調査。企業の本質的価値を下回っている割安なタイミングで投資。
3. 新興国株式運用に定評がある米国の独立系資産運用会社オールスプリングが実質的に運用。

クオリティ基準

- 強固な競争的地位
- 実績ベースの強固な財務内容および収益性
- 株主利益追求に専念する質の高い経営陣
- 長期的なトレンドに支えられた良好な成長見通し

「クオリティ・プール」
約300銘柄

企業の本質的価値を下回っている場合に投資



イラストはイメージです。

＊DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含む
（注）当戦略は「マザーファンド」への投資を通じて、新興国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）に実質的に投資を行います。なお、マザーファンドの組入比率は、原則として高位を保ちます。株式の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。マザーファンドのベンチマークはMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

（出所）アセットマネジメントOne
※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。上記の運用アプローチは、今後変更される可能性があります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用

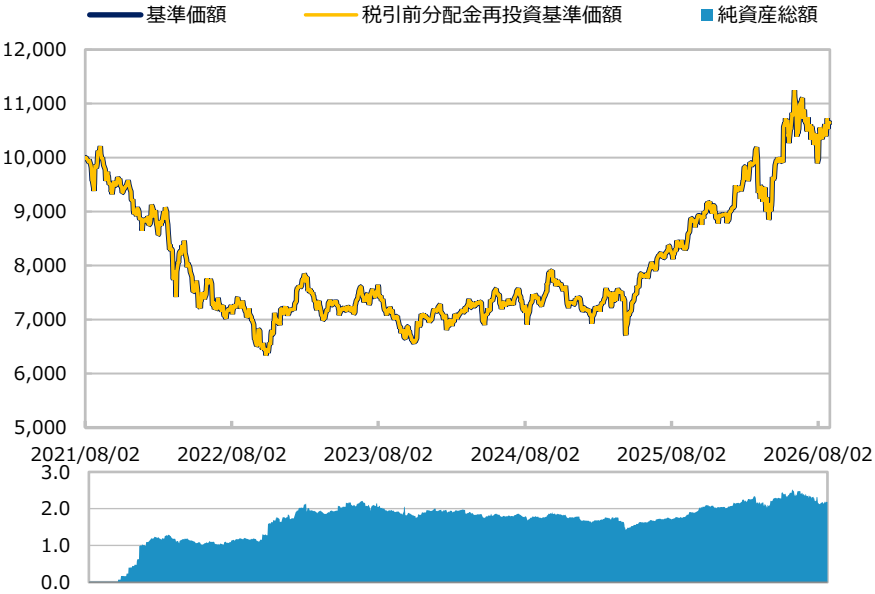
三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.

日興ＦＷＳ・新興国株アクティブ（為替ヘッジあり）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年08月31日

ファンド設定日：2021年08月03日　　日経新聞掲載名：ＮＳ興株ア有

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末
基準価額（円）	10,644
純資産総額（百万円）	218.5

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1ヵ月	2026/07/31	7.56
3ヵ月	2026/05/29	-1.70
6ヵ月	2026/02/27	5.01
1年	2025/08/29	26.99
3年	2023/08/31	47.14
5年	2021/08/31	8.18
設定来	2021/08/03	6.44

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ 換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2022/08/01	0
第2期	2023/07/31	0
第3期	2024/07/31	0
第4期	2025/07/31	0
第5期	2026/07/31	0
設定来		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。
※ 決算日は、毎年7月31日（休業日の場合は、翌営業日）です。

資産構成比率（%）

	当月末
組入投資信託	98.2
現金等	1.8
合計	100.0
為替ヘッジ比率	96.7

※ 組入投資信託の正式名称は「ＯｎｅエマージングＨイクオリティ株式ファンド（限定為替ヘッジ）（FOFs用）（適格機関投資家限定）」です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用

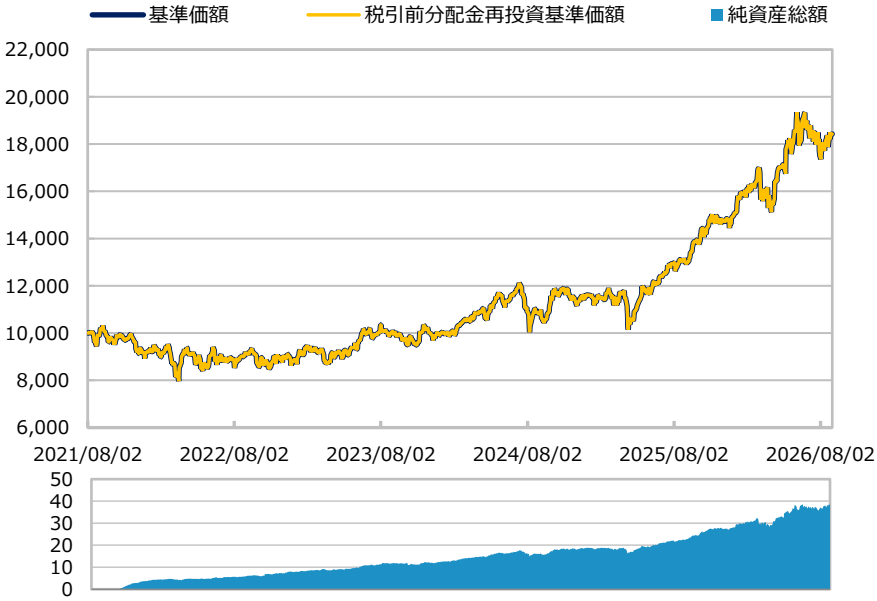
三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.

日興ＦＷＳ・新興国株アクティブ（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年08月31日

ファンド設定日：2021年08月03日　　日経新聞掲載名：ＮＳ興株ア無

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末
基準価額（円）	18,427
純資産総額（百万円）	3,842.9

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1ヵ月	2026/07/31	5.27
3ヵ月	2026/05/29	-0.96
6ヵ月	2026/02/27	8.82
1年	2025/08/29	41.20
3年	2023/08/31	82.54
5年	2021/08/31	86.23
設定来	2021/08/03	84.27

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ 換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2022/08/01	0
第2期	2023/07/31	0
第3期	2024/07/31	0
第4期	2025/07/31	0
第5期	2026/07/31	0
設定来		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。
※ 決算日は、毎年7月31日（休業日の場合は、翌営業日）です。

資産構成比率（%）

	当月末
組入投資信託	98.3
現金等	1.7
合計	100.0

※ 組入投資信託の正式名称は「ＯｎｅエマージングＨイクオリティ株式ファンド（為替ヘッジなし）（FOFs用）（適格機関投資家限定）」です。

日興ＦＷＳ・新興国株アクティブ（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年08月31日

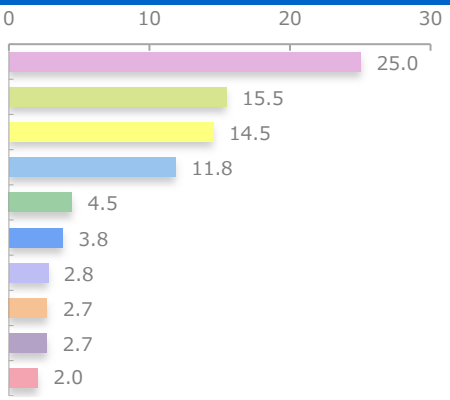
※ このページは「エマージング・ハイクオリティ株式マザーファンド」の情報を記載しています。

資産構成比率（%）

	当月末
株式	94.8
先物等	0.0
現金等	5.2
合計	100.0

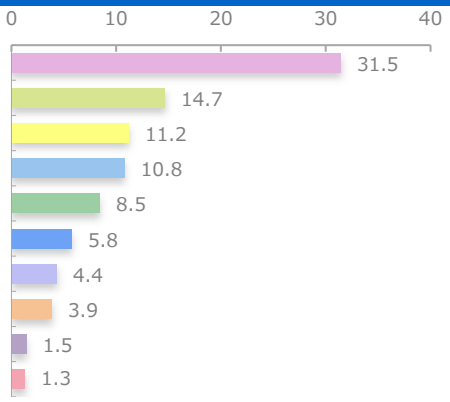
組入上位10カ国・地域（%）

		当月末
1	韓国	25.0
2	中国	15.5
3	台湾	14.5
4	インド	11.8
5	ブラジル	4.5
6	南アフリカ共和国	3.8
7	インドネシア	2.8
8	タイ	2.7
9	メキシコ	2.7
10	シンガポール	2.0



組入上位10業種（%）

		当月末
1	情報技術	31.5
2	コミュニケーション・サービス	14.7
3	金融	11.2
4	一般消費財・サービス	10.8
5	生活必需品	8.5
6	資本財・サービス	5.8
7	素材	4.4
8	エネルギー	3.9
9	その他	1.5
10	不動産	1.3



※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

組入上位10銘柄（%）　（組入銘柄数　109）

	銘柄	国・地域	業種	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾	情報技術	7.4
2	SK HYNIX INC	韓国	情報技術	7.2
3	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	情報技術	6.7
4	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	コミュニケーション・サービス	4.8
5	MEDIATEK INC	台湾	情報技術	3.1
6	SAMSUNG ELECTRONICS GDR(GB/USD)	韓国	情報技術	2.3
7	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	中国	一般消費財・サービス	2.3
8	TAIWAN SEMICONDUCTOR SP ADR	台湾	情報技術	2.0
9	BHARTI AIRTEL LTD	インド	コミュニケーション・サービス	1.8
10	RELIANCE INDUSTRIES LTD GDR	インド	エネルギー	1.8

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て「エマージング・ハイクオリティ株式マザーファンド」の純資産総額を100%として計算した値です。

日興ＦＷＳ・新興国株アクティブ（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年08月31日

※ このページは「エマージング・ハイクオリティ株式マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

当月のエマージング株式市場は、上昇しました（MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース））。中東情勢や世界的な金利上昇が懸念される局面もありましたが、米国半導体大手の良好な決算や業績見通しなどを受けてAI（人工知能）関連投資への期待が持ち直し、台湾や韓国を中心に上昇しました。

アジア地域では、内需の弱さなどが意識された中国がやや軟調に推移した一方、半導体関連株の反発を受けて台湾や韓国が上昇しました。中南米地域では、財政・金融政策を巡る不透明感などからコロンビアなどが軟調に推移しました。欧州・中東・アフリカ地域では、金価格の上昇を背景に資源株が買われ、南アフリカが上昇しました。

為替市場では、韓国ウォンや南アフリカランドが優位に推移した一方、コロンビアペソやフィリピンペソが劣後しました。

＜運用状況＞

当マザーファンドは、ベンチマーク（MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース））を下回るパフォーマンスとなりました。

国別では、韓国のオーバーウェイトがプラスに寄与した一方、台湾のアンダーウェイトや韓国、中国の銘柄選択などがマイナスに寄与しました。

業種別では、金融のアンダーウェイトなどがプラスに寄与した一方、コミュニケーション・サービスのオーバーウェイトや情報技術のアンダーウェイトなどがマイナスに寄与しました。

売買動向では、ブラジルを主要市場とする金融サービス会社を新規に購入するなどの投資行動を実施しました。

＜見通しと方針＞

今後も、経営陣の実績や企業の競争優位性、財務内容など、当該戦略が注目するクオリティの高い企業に、本質的価値を十分に下回る価格にて投資していく方針です。また、運用チームによるボトムアップリサーチに注力した銘柄選択を行い、長期的な視点でポートフォリオを構築・運営します。

足元では、国別配分では韓国やインドネシアをオーバーウェイトとする一方、中国や台湾をアンダーウェイトとしています。業種配分では、コミュニケーション・サービスや生活必需品をオーバーウェイトとする一方、情報技術や金融をアンダーウェイトとしています。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

日興ＦＷＳ・新興国株アクティブ（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年08月31日

ファンドの特色

為替ヘッジあり

○ 指定投資信託証券への投資を通じて、主として新興国の株式に投資し、アクティブ運用を行います。
○ 実質組入外貨建資産については、指定投資信託証券において、原則として米ドル売り円買いの為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図ります。そのため、米ドル建て以外の通貨建資産については、米ドルに対する当該通貨の為替変動の影響を受けます。なお、当ファンドにおいて直接対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る場合もあります。

為替ヘッジなし

○ 指定投資信託証券への投資を通じて、主として新興国の株式に投資し、アクティブ運用を行います。
○ 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
※ 基準価額は為替変動の影響を受けます。

※ 指定投資信託証券の選定については、ＳＭＢＣグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社からの助言を受けます。
なお、指定投資信託証券は継続的にモニタリングを行い必要な場合は入替えも行います。
※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

■ 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
■ 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
■ 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
■ 当ファンドの主要なリスクは、以下の通りです。

■ 株式市場リスク
内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 信用リスク
ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク
（為替ヘッジあり）
外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。
原則として対円での為替ヘッジを行うため為替の変動による影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。なお、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。また、一部の通貨建資産については為替ヘッジが困難等と判断された場合、他の通貨で代替した為替取引を行うことまたは為替ヘッジを行わないことがあります。なお、各ファンドにおいて直接対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る場合もあります。
また、新興国株アクティブヘッジ有については、外貨建資産とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行います。したがって、米ドル建て資産については、為替の変動による影響は限定的と考えられます。
なお、実質的な通貨配分にかかわらず、米ドル売り円買いの為替取引を行うため、米ドル以外の組入通貨については、米ドルに対する当該通貨の為替変動の影響を受けます。
（為替ヘッジなし）
外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

日興ＦＷＳ・新興国株アクティブ（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年08月31日

投資リスク

■ カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。
特に投資先が新興国の場合、その証券市場は先進国の証券市場に比べ、より運用上の制約が大きいことが想定されます。また、先進国に比べ、一般に市場規模が小さいため、有価証券の需給変動の影響を受けやすく、価格形成が偏ったり、変動性が大きくなる傾向が考えられます。

■ 流動性リスク

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。
これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

○ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

○ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

○ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

〔外国税制に関する留意点〕

○ 投資対象国によっては、有価証券の売買を行う際の売買益等に対して課税される場合があります。将来、これらの税率や課税方法が変更された場合、または新たな税制が適用された場合、基準価額に影響を及ぼすことがあります。

● ファンドのお申込みに関しては、クーリング・オフ制度の適用はありません。

● ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

日興ＦＷＳ・新興国株アクティブ（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年08月31日

お申込みメモ
購入単位
お申込みの販売会社にお問い合わせください。
購入価額
購入申込受付日の翌々営業日の基準価額
購入代金
販売会社の定める期日までにお支払いください。
換金単位
お申込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額
換金申込受付日の翌々営業日の基準価額
換金代金
原則として、換金申込受付日から起算して７営業日目からお支払いします。
申込不可日
申込受付日または申込受付日の翌営業日が下記のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。 ● ニューヨークの取引所の休業日 ● 香港の取引所の休業日 ● ニューヨークの銀行の休業日
信託期間
無期限（2021年8月3日設定）
決算日
毎年7月31日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配
年1回決算を行い、分配方針に基づき分配金額を決定します。（委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。） 分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。 分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。 ※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。
課税関係
● 課税上は株式投資信託として取り扱われます。 ● 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。
注記
当ファンドは日興ファンドラップ専用ファンドです。

日興ＦＷＳ・新興国株アクティブ（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年08月31日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

○ 購入時手数料
ありません。

○ 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○ 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に以下の率を乗じた額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。
なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日と毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
＜信託報酬率およびその配分、実質的な負担＞
実質的な負担は、作成基準日時点における有効な投資信託説明書（交付目論見書）に記載のある以下ファンドの指定投資信託証券の運用管理費用（信託報酬）に基づき記載しています。
指定投資信託証券、もしくはその運用管理費用（信託報酬）が変更となった場合には、実質的な負担も変更となる場合があります。

ファンド名	信託報酬率	配分（税抜き）			投資対象とする投資信託	実質的な負担
		委託会社	販売会社	受託会社		
新興国株アクティブヘッジ有	年0.2255%（税抜き0.205%）	年0.15%	年0.03%	年0.025%	年0.935%程度	年1.1605%（税抜き1.055%）程度
新興国株アクティブヘッジ無						

※ 上記の配分には別途消費税等相当額がかかります。
※ 各ファンドの指定投資信託証券の運用管理費用（信託報酬）は、料率が把握できる費用の合計であり、上記以外の費用がかかる場合があります。また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回る場合があります。

支払先	役務の内容
委託会社	ファンドの運用およびそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面等の作成等の対価
販売会社	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
受託会社	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価

○ その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
- 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
- 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
- 資産を外国で保管する場合の費用　　等

※ 上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税　配当所得として課税　普通分配金に対して20.315%

換金（解約）時及び償還時

所得税及び地方税　譲渡所得として課税　換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。
※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
※ 法人の場合は上記とは異なります。
※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第399号 加入協会　：　一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ　：　https://www.smd-am.co.jp コールセンター　：　0120－88－2976　［受付時間］午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

日興ＦＷＳ・新興国株アクティブ（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年08月31日

販売会社

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本ＳＴＯ協会	備考
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	○	

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.